

## 戦時下の暮らし

戦争の長期化によって、市民生活は、国民精神総動員運動のもとに、貯蓄増強・国債消化の協力をはじめ、日常必要な諸物資の供給も難しくなり、昭和15年7月には、精道村役場に配給業務を担当する産業課も新設されました。家庭用燃料などの配給は、いわゆる隣組の隣保組織が活用されました。

昭和16年から米、麦、食料油、酒類、卵、パンなどの統制がはじまり、みそ、しょうゆ、塩、ミルク、青果物、鮮魚介、鋳物製品なども配給制となり、19年には休閒地の利用もすすめられ、食糧事情は窮迫の状態となりました。



漢口陥落を祝う市民 昭和13年



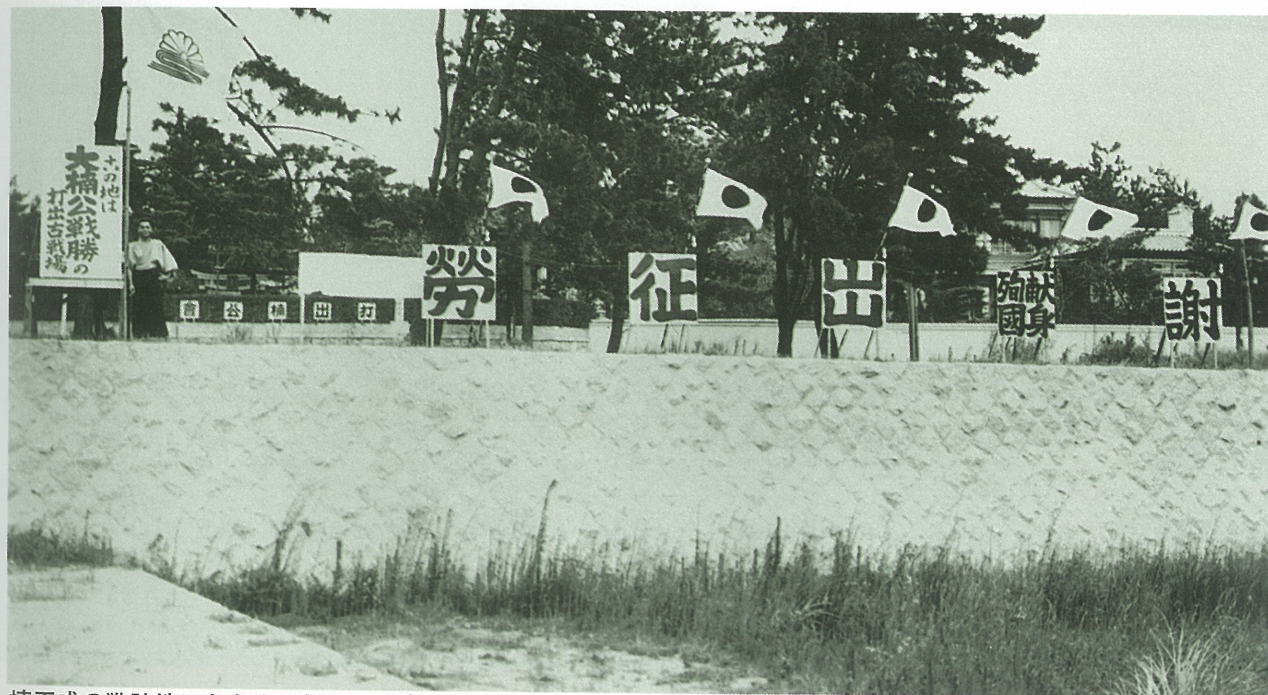
武運長久を祈る人びと 市役所前

## 出征兵士の見送り

芦屋市が発足して1年、新市として拡充事業もようやく軌道にのってきたとき、わが国は悲惨な太平洋戦争へと突入し、戦時体制のもとに市の自治制も失われていきました。

召集令状によって動員されてゆく各家庭の中堅労働人員は増加し、人口の男子数は減少をたどりました。

戦線に投入される人員・資材の量の増加と消耗の激化ははなはだしく、その補給もまた急を要しました。



楠正成の戦跡地にちなんだ打出の戦意高揚の風景



応召兵士の見送り風景 昭和12年ごろ



山芦屋町付近 昭和12年ごろ

## 国防婦人会の活躍

戦争犠牲者が急増するにつれ、銃後奉公会・男女青年団などとともに婦人会・大日本国防婦人会もまた出征軍人やその遺家族の慰問、送迎、慰安会、勤労奉仕、国防演習などの活動を行いました。



国防婦人会の訓練 芦屋公園



勤労奉仕活動をする国防婦人会



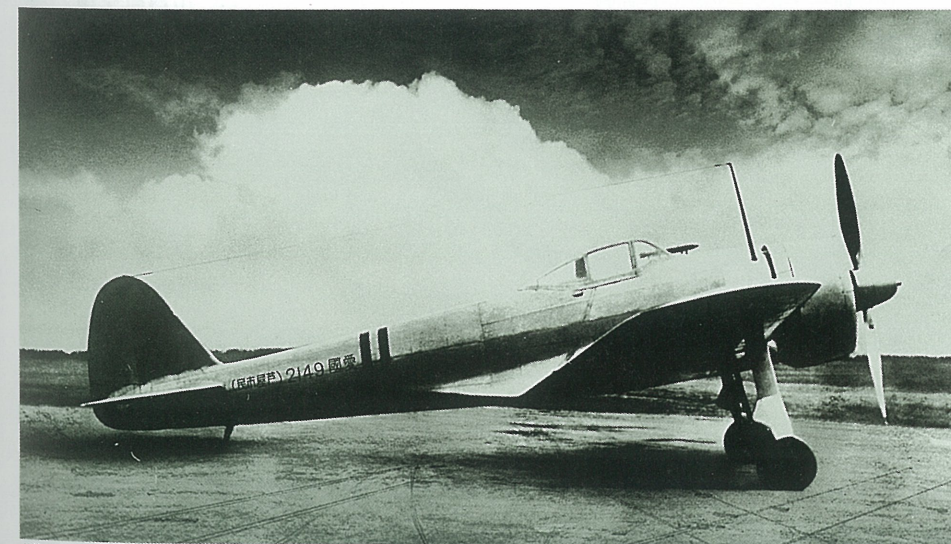
防毒マスクをつけての防空演習 芦屋公園



防空訓練 東芦屋町



慰問品づくりに励む国防婦人会の人びと



戦時下、芦屋市民の献金でつくられた戦闘機 胴体に愛国9412「芦屋市民」とある。

# 空襲

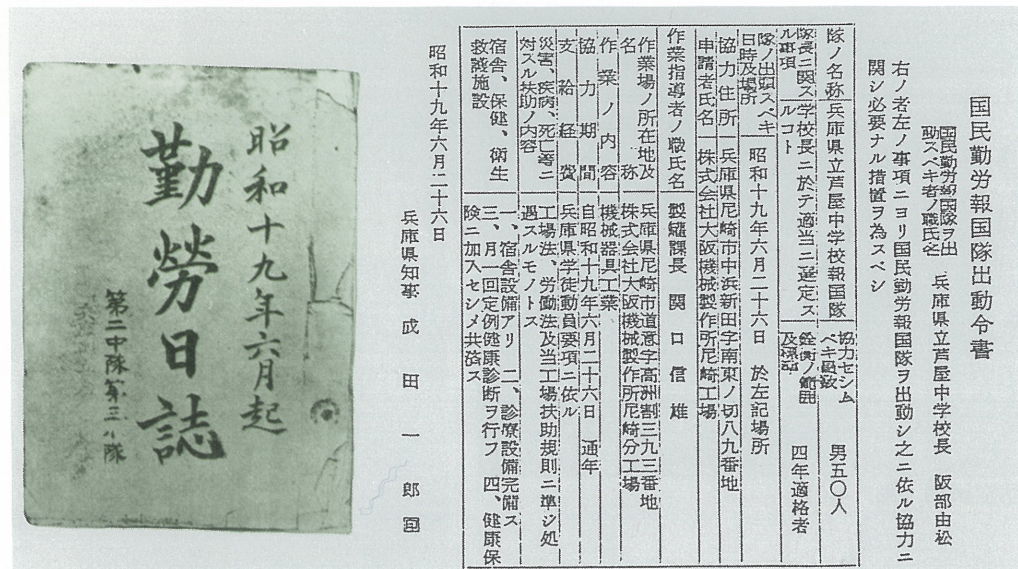
昭和19年11月の東京空襲を皮切りに、本土空襲が頻繁となり、ついに、芦屋も20年5月11日に第1回の空襲を受け、6月に入り、5日、15日さらに8月5日～6日と相ついで攻撃を受けました。

とくに、1,500発もの焼夷弾が落とされた8月5日夜半から、6日未明にかけての被害がもっとも大きいものでした。

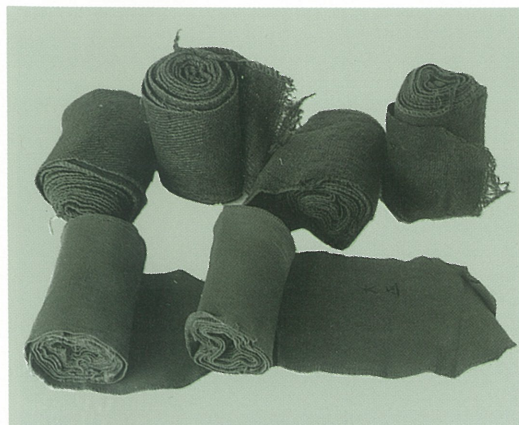
罹災者は総人口の5割、家屋は総戸数の約4割、学校は校舎の8割を失いました。



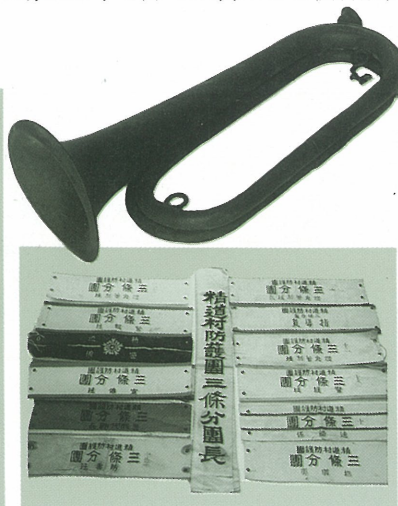
昭和20年6月6日の朝日新聞



芦屋中学校勤労日誌 昭和19年になると、戦局はいよいよ急迫し、芦屋中学校も3年生以上が勤労動員に出動、さらに2年生も動員となった。12月には東校舎150坪は、川西航空機の学校工場となった。学校工場は20年6月の空襲による校舎焼失まで続いた。



芦屋で開催された戦災展の展示品



# 終戦

芦屋市でも終戦後神戸へ進駐した米軍の幹部の宿舎などに個人住宅が接収使用され、マッカーサー夫人や高官たちが宿泊したといわれています。また、この混とんとした状況の中で婦人会が結成され、復員列車の出迎えや文化活動に努めました。

八月五日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月六日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月七日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月八日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月九日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月十日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月十一日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月十二日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月十三日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月十四日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月十五日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月十六日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月十七日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月十八日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月十九日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月二十日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月二十一日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月二十二日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月二十三日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月二十四日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月二十五日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月二十六日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月二十七日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月二十八日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月二十九日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月三十日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)
八月三十一日	本校慰労会、多々全焼せり(神戸市立第一中学校)

終戦のころの小学校行事記録



復員兵を出迎える婦人会 戦後間もないころ、芦屋の婦人会は国鉄芦屋駅で復員列車をあたたく出迎え、お茶の接待などをした。当時、駐留軍の目を恐れて、誰もが敬遠していたころであった。



公会堂での婦人会主催の「婦人文化学園」の開校式